

令和7年度 第3回 中瀬小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年12月12日（金） 14時00分から14時45分まで
- 2 開催場所 中瀬小学校 会議室
- 3 出席委員 山本 忠雄、村上 雅代、舟橋 弘子、鈴木 英之、
田中 弥生、平山 裕、河合 貴幸、平賀 伊織、森本 宣子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 細川 恭由（中瀬協働センター）
- 6 学 校 島田 一孝（校長）、櫻井 伸夫（教頭）、佐々木 麻美（CS担当教職員）、
富永 幸代（CSディレクター）
- 7 教育委員会 清水 悠
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項
 - （1）議長の選出について
 - （2）学習発表会を受けて
 - （3）2学期の学校支援活動の振り返りと今後の支援の在り方について
 - （4）2学期学校評価について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 富永 幸代
- 11 会議記録

司会の佐々木主幹（CS担当職員）から、委員9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、山本委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）学習発表会を受けて

議長の指示により、学習発表会を受けて、委員に感想や意見を求めたところ、以下のような発言があった。

- ・2年生の演奏では、トライアングルなどの楽器の持ち方が違っていた。使い慣れていない楽器の使用方法是事前指導を徹底するとよいと思う。（舟橋委員）
- ・どの学年の発表も素晴らしく、学習した教科に結びついていた。経験や体験したことを表現する場として「学習発表会」は大切だと感じた。人とつながりをもち、他者とまとまりながら作る体験として、これからも大切にしてもらいたい。（河合委員）
- ・子供たちは生き生きとして楽しそうだった。昨年までは授業内容を基にした発表が多い傾向だったが、今回は音楽的要素が多く加わったと感じた。（村上委員）

（佐々木主幹）→昨年度の教育課程の話し合いの中で、学習発表会では更なる一体感をもたせたいとの課題が出たので、今年度は多くの学年が合奏や合唱など、みんなで力を合わせて作り上げて表現する発表に取り組んだ。

(3) 2学期の学校運営について

議長の指示により、学校支援コーディネーターの田中委員から、別添資料に基づき2学期の支援活動について説明があった。

(田中委員) →ボランティアアンケートの結果から、支援者への活動内容の詳細説明が不足していると確認できたので改善に努めたい。学校支援コーディネーターとして支援活動内容を取りまとめ、ボランティア参加者に詳細を伝えていきたい。年度初めに、先生方と委員と学校支援コーディネーターで顔合わせして面識をもつことで円滑な活動につながると思うので、そのような機会を設けたい。

委員からは以下のような発言があった。

- ・4年生から6年生が参加する裁縫クラブの支援に参加したが、できる子とできない子の差が大きいと感じた。切れ味の悪いハサミの使用や、材料がそろっていない児童がいたので、事前確認が必要だと思う。支援者にも事前に何を作るかの案内があるとよいと思う。(森本委員)

(4) 2学期の学校評価について

議長の指示により、佐々木主幹から、別添資料に基づき2学期の学校評価について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・1年生は元気いっぱい一生懸命取り組み、学年が上がるとともに責任感が芽生え、6年生ではリーダーシップをとるといった様子は学習発表会でも見受けられたし、アンケート結果からもそのような成長の様子が見られる。(平賀委員)
- ・持久走をなくして欲しいとの高学年児童の声がある一方で、マラソン大会を行ってほしいとの保護者の声があるが、持久走とマラソン大会の違いとは。(平山委員)

(佐々木主幹) →本校で行っている持久走は、グラウンドを時間内に何週走れるかというもので、個々の持久力を計測している。以前行っていたマラソン大会では順位を付けていた。

☆その他の連絡事項☆

司会から、今後の会議は以下の日程で開催する旨の報告があった。

- ・第4回：令和8年2月12日(木)